

「平泉ナンバー」 実現に向け、 10万人署名活動にご協力を！



県南部の商工会や観光協会、行政で構成する「平泉ナンバーを実現させる会（会長・宇部貞宏一関商工会議所会頭）」では、平泉ナンバーの早期実現を目指し、両磐と胆江全域で10万人の署名活動に取り組んでいます。

1 実現させる会エリア
平泉ナンバーを実現させる会のエリアは、一関市・奥州市・平泉町・金ケ崎町の4市町で構成されています。平泉ナンバーの実現により、平泉の文化遺産を核とする地域づくりや、知名度アップなどが期待されます。

2 ご当地ナンバーのメリット
走る広告塔として、知名度アップによる地域振興、観光振興、運転マナーの向上などの効果を挙げています。また、東日本大震災からの復旧・復興にも大きく寄与すると考えられています。

3 ご当地ナンバー導入例
仙台（宮城県）や会津（福島県）、富士山（山梨県、静岡県）や鈴鹿（三重県）など19地域で導入されています。

4 10万人署名活動
町では、10月中に行政区での班回覧による方法と、町内の公共施設内に、署名用紙を設置して署名活動に取り組みます。
一人でも多くの方々のご協力をお願いします。

問い合わせ先
総務企画課 46 5578



平泉ナンバーのイメージ

第57回敬老会 長寿を喜ぶ 笑顔あふれる



第57回平泉町敬老会が9月18日、平泉中体育館で開催されました。昭和7年4月1日以前に生まれた964人が招待され、式典には371人が元気な姿で出席しました。
式典では、菅原町長のあいさつに続いて、高齢者、米寿者などに、長寿と健康を願ってお祝い品が贈られました。
昼食を取りながらのアトラクションでは、町内の団体による踊りなどが次々と披露され、招待者たちは敬老会を楽しく過ごしていました。



①式典には80歳以上の町民371人が出席した②招待者を代表してあいさつする 橋國紀さん（12区）③米寿者を代表して畠山淳吉さん（17区）に町長から記念品が手渡された④100歳のお祝いを笑顔で受け取る藤田トクヨさん（12区）⑤⑥⑦多彩なアトラクションで招待者を祝った

